

## 公民館情報

### 行方市公民館事業に対するアンケート

「公民館講座」の内容充実を目的に参考とさせていただきますため、アンケートを実施します。行方市公民館事業に対する市民の皆さんのご意見をお聞かせください。

【電子アンケート終了日】

9月30日(木)

※右のQRコードを読み取り、回答頂くことができます。市民の皆さまのご意見をぜひお聞かせください。



### 小高地区館業務終了

これまで地元の皆さまにご利用いただきましたが、地元での利用や他の団体利用等が少なくなり、経年による老朽化が進んだ状況もあるため、業務を終了することとなりました。ご迷惑をおかけしますが、ご理解いただきますようお願いいたします。

【地区館所在地】 行方市小高 925

【業務終了日】 8月31日(火)

【問】 麻生公民館 ☎ 0299-72-1573  
北浦公民館 ☎ 0291-35-3777

## 歌碑や文学活動の足跡を巡る旅 5 新庄 直計 (蓬窓・憐風)

古株や香そ慕はる、きくのはな

麻生藩第十二代藩主新庄直計公は、天明七年(1787年)に、第十一代藩主直矩公の嫡男として江戸で誕生しました。

享和二年(1802年)に初めて第十一代將軍徳川家斉に拝謁し、翌年(1803年)十五歳にして家督を継いでいます。同年12月には従五位下越前守に叙任され、在位の間に大阪城や二条城の守衛や江戸城の修造などを務められています。

特に文化から天保期にかけての麻生地方の俳諧は、直計公が熱心だったため、家老の畑秀成(月窓)や典医の朝倉長達はじめ上級藩士の間で盛んであったことが特筆されます。直計公は、自らも「蓬窓・憐風」と号し句を詠まれ、二世沾嶺編「かつらの露」には、前述の句と共にもう一句「名月に魯般か梯呉や銀河」が選句されています。

俳諧によって麻生藩に定着した文芸の素養はその後、関西地方より流行してきた狂歌に至り、やがて庶民にも広がりを見せます。この後麻生は江戸崎と共に常陸地方の狂歌の拠点になっていきました。

(文責：行方市教育委員会生涯学習課)

※「常陸 俳諧散歩～活躍する遊俳たち～」(中根誠著)「常陸国麻生藩の研究」(植田敏雄著)を参考にしています。

※魯般：中国春秋時代の名工、奇巧の器具を制作して名高かったと伝えられている。

※「かつらの露」1800年代の俳諧選集

【問】 生涯学習課文化・社会教育グループ ☎ 0291-35-2111

## はい、こちら行方市消費生活センター！

### アナログ回線戻しの電話勧誘にご注意を！！



#### 【事例】

大手電話会社を名乗る人物から「アナログ回線に戻すと電話料金が安くなる。キャンペーン中なので工事費はあとでキャッシュバックする」と電話があった。高齢者の二人暮らしで普段インターネットを使っていないためちょうどいいと思い、契約した。事業者からアナログ回線に戻すための工事は自分で依頼するよう指示があったので大手電話会社に工事を依頼した。しばらくすると身に覚えのない業者から封書が届き、大手電話会社と全く関係のない業者と契約していることが分かった。書面には40,000円の初期費用を支払うよう書かれており、振込用紙が同封されていた。支払うしかないのか。

#### 【解説】

数年前までは「光回線に替えませんか」という電話勧誘が多い傾向にありましたが、最近では「インターネットを使っていなければ、アナログ回線に戻した方がいい」と大手電話会社を名乗り、実際には関係のない事業者が勧誘をしているケースが全国的にも増えてきています。以下のポイントを押さえておきましょう。

- ① 知らないうちに、回線の切り替えには必要のないサービスの契約を結んでいるケースもあります。勧誘の電話を受けた際は、すぐに契約するのではなく事業者の名前やサービスの内容をよく確認し、一人で決めず家族や周囲の人に相談しましょう。必要なればきっぱり断りましょう。
- ② アナログ回線戻しは、自分で契約している電話会社へ申し出ることによって手続きをすることができます。また、契約後であっても書面を受け取ってから8日間以内はクーリング・オフを行うことができる場合があります。

何か分からないことがあったりトラブルにあってしまった場合は、一人で悩まず行方市消費生活センターに相談してください。

— まずはお電話を！ —

【問い合わせ】 行方市消費生活センター ☎ 0291-34-6446